



どうしたらいい？ へき地・小規模校の 体育の教材・教具

令和6年

1月20日（土）

開催要項は、以下のURL
からダウンロードできます。



<https://qr.paps.jp/HQo2Knk>

13:30
開会あいさつ

○玉井 康之

（北海道教育大学副学長・教授・へき地小規模校教育研究センター長）

13:40
パネ①



少人数の良さを生かした体育の授業実践事例

○吉峯 真太郎（鹿児島県奄美市立手花部小学校・教諭）

令和三年度「たくましいかごしまっ子」育成事業推進校として研究発表者及び授業者を担い、翌年には全国体育授業優秀教員として表彰されるなど、鹿児島県を代表する小学校体育教師。現在、全校児童15名の学校で、少人数の利点を活かし、一人ひとりのニーズに合わせた体育授業づくりを実践中。

14:00
パネ②



小規模小学校の教具を活用した運動の場づくり

○深井 幸恵（増毛町立増毛小学校・教諭）

北海道の小学校体育専科教員を経て、現在体育エキスパート教員として活躍。手作り教具を使って楽しみながら運動技能を高められる子を目指して実践しています。安価な材料を使った教具が多く、どの学校でも取り入れることが可能です。また、発達段階に合わせたきめ細やかな指導法も定評があります！

14:20
パネ③



へき地小規模校の体育における遠隔授業の可能性

○中島 寿宏（北海道教育大学札幌校・教授）

体育科教育学を専門。北海道教育大学へき地教育センター員及び未来の学び協創研究センター員として活動しています。ICTをへき地小規模校に活用する新たな可能性を研究しており、オンラインで離島と札幌市内の中学校をつないだベースボール型の教材を開発するなど、先進的な研究に取り組んでいます。

床を滑ってくるボールを蹴る？

14:40
パネ④



ボール運動領域における教材・教具の開発

○竹内 隆司（東海学院大学・講師）

長野県の小学校教員経験19年。子ども向けのボールゲームを促進する滑るボールや複数方向へのシュートを学習する教材を開発。右写真のような滑るボールを使った教材を開発し全国に発信するなど、斬新なアプローチが全国の体育授業に大きな影響を与えています。



15:00
～15:30

討議「これからのへき地・小規模校における体育授業の在り方」
参加者との質疑応答

司会：高瀬淳也（北海道教育大学旭川校）

日時

令和6年 1月20日（土） 13:30～15:30（13時より受付開始）

会場

北海道教育大学旭川校 L301教室・オンライン

対象

小学校・中学校・高等学校教員、学生・大学院生

参加費

全員無料

へき地教育や教材教具の開発に造詣の深い4名の先生方から、少人数学級向けの体育授業の教材やアイデアを紹介するパネルディスカッションを行います。へき地小規模校で教育に携わる先生方や興味をお持ちの皆様、ぜひご参加ください。

申し込みは、以下のURL
もしくはQRコード
より登録してください。

<https://forms.gle/2vr5cZ4vheqntaNu5>



主催：北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター

共催：全国へき地教育研究連盟、北海道へき地・複式教育研究連盟

後援：文部科学省、北海道教育委員会、旭川市教育委員会

申し込み締め切り 1月15日（月） 定員：対面100名 オンライン150名

問い合わせ先 北海道教育大学旭川校 高瀬淳也

Tel：0166-59-1344 Mail：takase.junya@a.hokkyodai.ac.jp